

伊賀市の決算状況を報告します

《平成 27 年度の決算状況》

9月に行われた第5回伊賀市議会（定例会）で、平成 27 年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が認定されました。今回は、その概要をお知らせします。

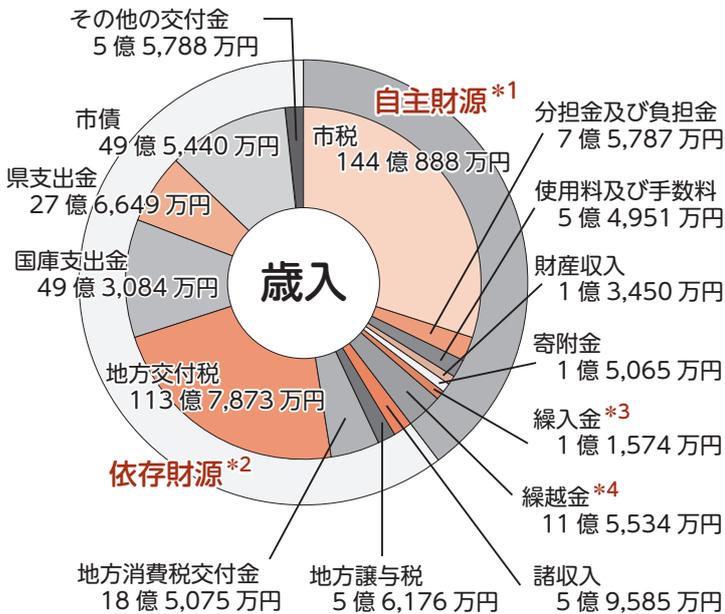
※表示単位未満を四捨五入していますので、決算書の金額（円単位）と一致していない場合があります。

【問い合わせ】 財政課 ☎ 22-9608 FAX 22-9694

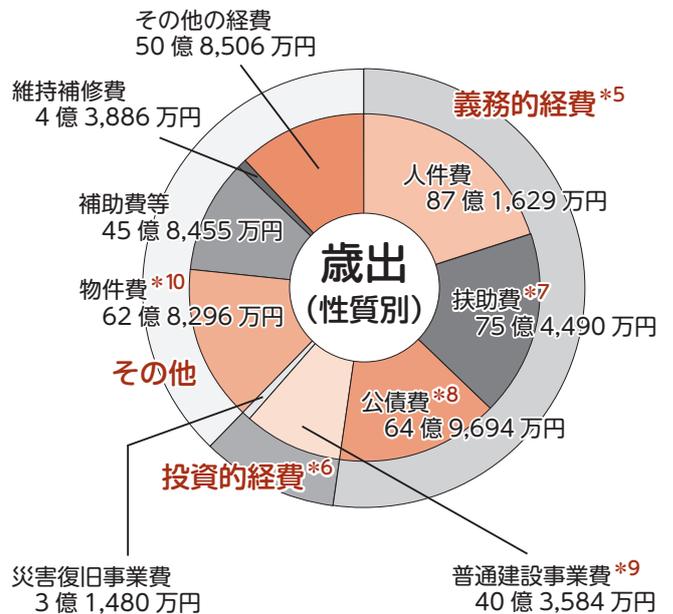


■ 一般会計の決算状況

▼歳入：448 億 6,919 万円

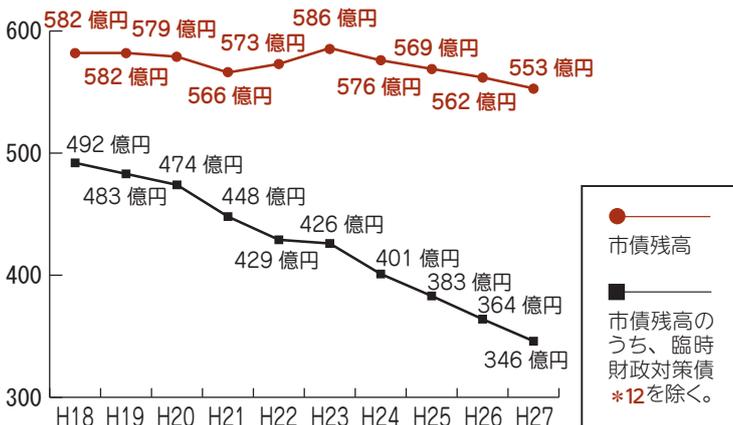


▼歳出：435 億 20 万円



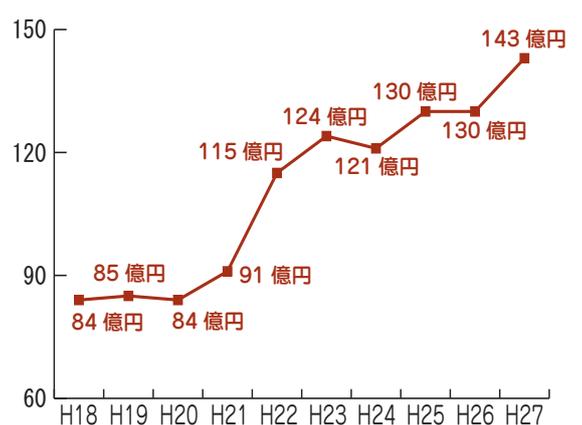
▼市債残高：553 億円

市債*11は、いわゆる市の借金です。
市民 1 人あたりでは、約 59 万円です。



▼基金残高：143 億円

基金は、いわゆる市の貯金です。
市民 1 人あたりでは、約 15 万円です。



主な経費

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など



▲崇広中学校体育館

教育費 (7.6%) 33 億 845 万円

- 学校管理経費 (小学校費) 3 億 5,689 万円
- 施設整備事業 (小学校費) 3 億 2,338 万円
- 学校管理経費 (中学校費) 2 億 2,064 万円

消防費 (6.3%)

27 億 2,927 万円

- 庁舎整備事業 8 億 4,087 万円
- 消防施設整備事業 4 億 3,791 万円
- 消防団本部管理経費 1 億 3,208 万円

土木費 (7.1%) 30 億 8,379 万円

- 社会資本整備交付金事業 4 億 6,834 万円
- 都市公園整備事業 2 億 566 万円
- 市街地整備推進事業 2 億 492 万円



▲伊賀上野 NINJA フェスタ

商工費 (1.4%) 6 億 431 万円

- 企業立地促進経費 1 億 8,251 万円
- 商工業振興経費 1 億 7,883 万円
- 観光振興経費 1 億 1,053 万円

農林業費 (4.4%) 18 億 9,828 万円

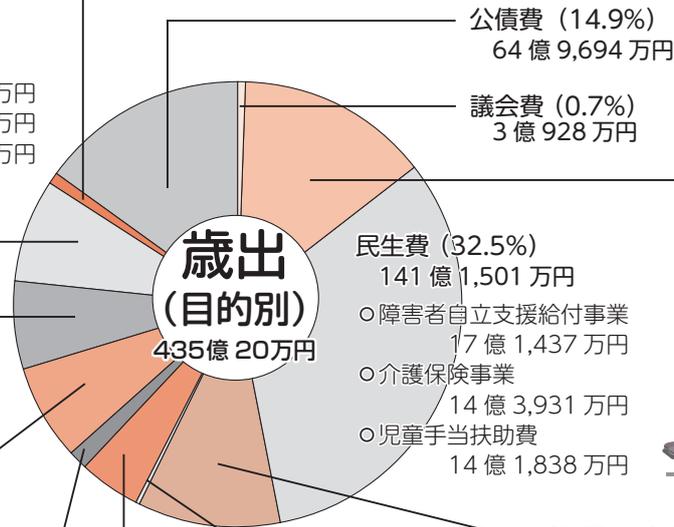
- 多面的機能支払交付金事業 2 億 422 万円
- 畜産振興事務経費 1 億 3,867 万円
- 地域農政推進対策事業 1 億 2,248 万円

災害復旧費 (0.7%) 3 億 1,480 万円

- 公共土木施設災害復旧事業 1 億 7,518 万円
- 農林施設災害復旧事業 1 億 3,468 万円
- その他公共・公用施設災害復旧事業 494 万円

総務費 (13.9%) 60 億 5,180 万円

- 地域振興経費 2 億 8,879 万円
- 文化施設維持管理経費 2 億 8,022 万円
- 地区市民センター等維持管理経費 2 億 5,969 万円



- 障害者自立支援給付事業 17 億 1,437 万円
- 介護保険事業 14 億 3,931 万円
- 児童手当扶助費 14 億 1,838 万円
- ごみ燃料化及び施設維持管理経費 9 億 4,184 万円
- ごみ収集経費 3 億 8,844 万円
- し尿処理及び施設維持管理経費 3 億 1,787 万円

財政のこぼ

- *1 自主財源：地方公共団体が自主的に収入できる財源
 - *2 依存財源：国や県からの交付金など
 - *3 繰入金 (⇔繰出金)：一般会計と特別会計、特別会計同士など、一方の会計の収支不足を補てんするために他方の会計から充当されるお金
 - *4 繰越金：決算の結果、前年から繰り越しとなったお金
 - *5 義務的経費：人件費・扶助費・公債費など、支出が法令で義務付けられている経費
 - *6 投資的経費：道路・公園・学校・公営住宅の建設などの社会資本の整備に必要な経費
 - *7 扶助費：児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などに対して、市が行う支援に必要な経費
 - *8 公債費：市債の元金と利子の返済金
 - *9 普通建設事業費：道路・施設などを作ったり、施設を増築したりする経費
 - *10 物件費：人件費・扶助費・補助費・普通建設事業費などを除く経費の総称
 - *11 市債：主に道路や建設事業などのための借金
 - *12 臨時財政対策債：地方交付税の交付原資の不足に伴って、地方交付税に代わる地方一般財源として発行可能な特例的な地方債
- ※公共施設は、現在の市民だけでなく、将来にわたって多くの世代で利用するものです。そのため、一度に税金でまかなうよりも、市債を借りて長期にわたって返済することで、世代間の公平性を図るという考えに基づいています。

市有財産の状況

区分		土地	建物	主な施設
行政財産	公用財産	104,721㎡	38,279㎡	庁舎・消防施設など
	公共用財産	3,797,999㎡	471,533㎡	学校・図書館・公営住宅・公園など
普通財産		2,825,858㎡	22,258㎡	上記以外（山林など）
合計		6,728,578㎡	532,070㎡	—

特別会計の決算状況

市には、国民健康保険事業など9つの特別会計と、2つの財産区特別会計があります。

特別会計全体の基金残高は約40億円で2億円の増、市債残高は170億円で7億円の減です。

会計名	収入額	支出額	差引額	基金	市債
国民健康保険事業	116億7,408万円	117億1,064万円	▲3,656万円	12億1,857万円	1,180万円
住宅新築資金等貸付	3,060万円	1億2,276万円	▲9,216万円	11万円	3,955万円
駐車場事業	3,789万円	3,738万円	51万円	—	—
介護保険事業	102億1,421万円	99億754万円	3億667万円	1億2,787万円	—
農業集落排水事業	12億7,310万円	12億2,040万円	5,270万円	11億9,411万円	103億9,173万円
公共下水道事業	9億4,216万円	8億8,177万円	6,039万円	11億846万円	64億5,806万円
浄化槽事業	2,442万円	2,269万円	173万円	4,617万円	1億651万円
サービスエリア	1,331万円	1,278万円	53万円	4,764万円	—
後期高齢者医療	10億5,934万円	10億3,788万円	2,146万円	—	—
島ヶ原財産区	2,946万円	2,834万円	112万円	1億9,882万円	—
大山田財産区	1,409万円	1,334万円	75万円	7,536万円	—
合計	253億1,266万円	249億9,552万円	3億1,714万円	40億1,711万円	170億765万円

財政の早期健全化・再生に関する指標

(財政健全化法に基づく指標)

平成20年に施行された法律によって、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断するものとして、健全化判断比率を公表することが義務付けられています。

伊賀市の今年度の数値は、昨年度よりも改善してお

り、すべての指標で早期健全化基準・財政再生基準を下回りましたが、県内では下位のほうになっています。
※伊賀市の場合、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は黒字のため、「該当なし」と表記しています。

	実質赤字比率*1	連結実質赤字比率*2	実質公債費比率*3	将来負担比率*4	資金不足比率*5	
					病院事業	水道事業
伊賀市 (昨年度数値)	該当なし	該当なし	13.2 (13.7)	90.8 (104.2)	該当なし	該当なし
早期健全化基準	11.88	16.88	25.0	350.0	経営健全化基準 20.0	
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	—	—	

※速報値

*1 実質赤字比率：普通会計（行政サービスを行う一般会計など）の歳出に対する歳入の不足額（赤字額）が標準財政規模*6に占める割合

*2 連結実質赤字比率：すべての会計の赤字額と黒字額を合わせて計算した赤字額が標準財政規模に占める割合

*3 実質公債費比率：標準財政規模に占める公債費（借

金返済額）の割合の3カ年平均値

*4 将来負担比率：市が将来負担すべき負債による財政圧迫の割合

*5 資金不足比率：公営企業ごとの営業収益に対する手持ち資金の不足額の割合

*6 標準財政規模：地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう經常的一般財源の規模

水道事業

■事業概要



平成 27 年度の主な事業として、伊賀市水道広域化促進事業計画に基づき、佐那具町・川西地内では新規給水エリアの拡大事業を、上野丸之内・上野赤坂町・小田町・別府地内などでは配水管更新事業に取り組みました。

また、滝川・朝古川・丸柱・玉滝の各浄水場の薬品注入設備や横地野第 1 加圧所改良工事などにより、施設機器の更新を図り、安定して水道用水を供給できる環境を整備しました。

■給水状況

	平成 27 年度	平成 26 年度からの増減
現在給水戸数 (戸)	39,361	401
現在給水人口 (人)	93,704	▲ 739
年間総配水量 A (m ³)	14,324,370	265,114
有収水量 B (m ³)	11,551,564	36,973
有収率 B / A (%)	80.6	▲ 1.3

■市債残高 163 億 5,622 万円

■水道事業の決算 (消費税・地方消費税を含む。)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
事業収益	33 億 9,164 万円	37 億 5,404 万円	—	増減額	3 億 6,240 万円
事業費用	33 億 3,067 万円	32 億 6,536 万円	—	不用額	6,531 万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
収入	7 億 9,356 万円	7 億 9,376 万円	—	増減額	20 万円
支出	20 億 9,540 万円	20 億 8,574 万円	—	不用額	966 万円

【問い合わせ】 水道総務課 ☎ 24-0001 FAX 24-0006

病院事業

■事業概要

平成 27 年度は、本館外壁の防水工事や中央監視装置の更新工事などを実施し、病院機能を改良したほか、自動採血管準備装置や大腸ビデオスコープ、内視鏡挿入形状観測装置などの医療機器の購入整備を行い、医療の質を高めるよう努めました。



■利用状況

	平成 27 年度	平成 26 年度からの増減	1 日平均
外来患者数 (人)	62,033	6499	256
入院患者数 (人)	51,854	17438	142

※外来患者の 1 日平均人数は、患者数を年間診療日数である 242 日で割っています。

■市債残高 15 億 8,382 万円

■病院事業の決算 (消費税・地方消費税を含む。)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
事業収益	43 億 6,262 万円	40 億 7,907 万円	—	増減額	▲ 2 億 8,355 万円
事業費用	43 億 6,262 万円	43 億 48 万円	200 万円	不用額	6,014 万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
収入	2 億 855 万円	1 億 9,825 万円	—	増減額	▲ 1,030 万円
支出	3 億 1,867 万円	3 億 945 万円	—	不用額	922 万円

【問い合わせ】 上野総合市民病院病院総務課 ☎ 24-1111 FAX 24-1565